

キジャ・ウアシ・アーワカテル



画像出典元：https://www.pixiv.net/member_illust.php?mode=medium&illust_id=67323202

父スパイ・ウアシ・アーワカテルと母スマクナ・ウアシ・アーワカテルの間の長女として、7601年9月5日にインティ帝国の帝都マンカにおいて出生。

そして疫病流行により死去した父スパイに代わって、たったの10歳でサパ・インティに就いた。

美しくそして活発な性格をしており、7歳で密林を自由に闊歩し、体長10mもある大蛇を生け捕りにしたという武勇伝があり、各スーユの長からも気に入られている。

特にグワカ・スーユを代表するアマル・ナウィ・マンチャイが背後から強く支持しており、彼女のサパ・インティとしての基盤は安泰である。

父スパイからは、富を独占するカノミス人に対する憎悪教育を叩き込まれたが、母譲りの柔軟な思考と、心の友人がカノミス人にできたため、サパ・インティとしてはカノミス人との融和を図る立場。